

障がいのある

人のための  
学習講座

2021年度【聴覚障がい編】

# 「きこえない」とともに暮らす

【講座概要】

日程：10月～12月 全6回  
会場：生涯学習センターほか  
受講者数：34名  
(内、障がいのある人12名)

※手話通訳、  
要約筆記付き

FC町田ゼルビアの試合観戦を楽しみ、簡単な手話を覚えて交流を大切にしました。町田のろう者の歴史を振り返ったり、地域の防災の話聞いて何が必要か一緒に考えたり、盛りだくさんな内容で、受講者の親交が深まり、事後グループ「しゅわフレンズ」も誕生しました。これからの活動が楽しみです。



秋晴れのもと、サッカー観戦

レクリエーションにはゼルビーも登場！



ろう者、難聴、聴者、盲者、肢体不自由、障がいのある人、ない人、手話ができる人、できない人、学生、社会人、高齢者、**どんな人でも「交流したい」気持ちがあれば、大丈夫♪**

明るい講師のおかげで、手話に対するハードルが低くなりました。他の言語と同じ、**「発信する」ことが大切**なんだ！！

消防署の指導のもと、包帯法の実習も真剣に取り組みました。



町田で手話講座ができるまでの歩みがわかりました。



交流会講師：林原文文、美佳夫妻

【受講生の感想】

- ・サッカー観戦はナイスアイデアでした。一気にグループが近くなりました。
- ・現在、手話の勉強中です。実際に手話を使って聞こえない方とコミュニケーションをとる機会がないので、今回はとてもよい経験ができました。
- ・手話を使う方との交流で自分の気持ちを伝えるために、手話だけではなく、表情など工夫が必要だと実感しました。
- ・手話ははじめてでしたが、みんなが親切に教えてくれて、楽しかったです。
- ・ろう者と聴者の文化が違うことを理解して地域で生活しながら、お互いのカベを外していきたい。

